



Sekison 通信

教育目標◆◆未来をひらく 石川の子◆◆



R 5・6・8

NO, 6

文責：酒井



何といっても本物（実体験）が一番！

先生ぬけなくなりました。

ウワー気持ちいい！ぬるぬるする。

学校を飛び出した5年生が目指したのは、福島交通前の田んぼ。雨天のため延期となっていた田植え決行日、否が応でも気持ちが高揚します。

5年生は、この日、例年のバケツ稲だけでなく、実際の田んぼでの田植えを体験しました。準備してきた長靴は、役に立たないとばかりに早々に脱ぎ捨て、裸足でいざ入水!?

農協の職員の方の説明はありましたが、何せほとんどの子ども達が初体験です。逸る気持ちは抑えられません。気がつけば、80人ほぼ全員が田んぼに…。あっという間に水は濁り、農協の方が事前につけた目印の線も全く見えなくなり、あとはほぼ勘に頼っての田植えとなりました。これには、地主の岡崎さんも苦笑い。子ども達の大騒ぎに目を細くしていました。

足だけでなく運動着もちろん泥だらけ、自分の顔に「バック」とばかりに泥を塗り付ける子も現れ、楽しい田植えは無事終了しました。



新型コロナウイルスの影響で、様々な活動が制限された3年間。一人一台の端末（タブレット）の支給の影響もあり、いつの間にか実体験よりもバーチャルな世界がもてはやされることも多くなりました。しかし、本物に勝るものはありません。五感（見る・味わう・嗅ぐ・聞く・触る）で感じるからこそ記憶に残り、イメージが持てます。小学生の時の体験はその人生を彩ります。体験を積むことで経験値が高まり、予測不可能な時代を生き抜く逞しさが身につきます。

生活科、総合的な学習の時間、理科や社会はもとより、その他の教育活動においても、石小では、本物（実体験）を大切にします。一学期の各学年の主要な活動は次のようになります。

1年：がっこうたんけん・アサガオをそだてよう・いきものとなかよし
2年：ミニトマトのさいばい・まちたんけんをしよう・いきものなかよしだいさくせん。
3年：サツマイモ体験（苗植え・収穫）・課題追求学習
4年：今出川、北須川探検・コンポストを使ってごみを減らそう
5年：稲作に挑戦・那須甲子青少年自然の家宿泊学習
6年：高齢者体験・認知症教室・石川コネクション・その他

※子ども達の活動の様子は、HPで紹介します。

うれしい知らせがぞくぞくと！

5月26日（金）に自転車部が、6月3日（土）に陸上部がそれぞれの大会に参加しました。先立って行った「選手壮行会」では、「結果よりもこれまで真剣に取り組んだことが尊い」と言って送り出した子ども達が、持てる力を存分に発揮してきました。しかも好結果のおまけ付きです。

もちろん結果が全てではありませんが、自己新記録や入賞という形となって練習の成果が実を結ぶとやはりうれしくなります。

石川地区交通安全自転車大会

優勝 Aチーム（県大会出場）

鈴木 裕心（5年） 小野 航聖（5年） 白岩 万実（6年） 鈴木 裕貴（6年）

第4位 Bチーム

個人優勝 白岩 万実（6年） 2位 小野 航聖（5年）

第4位 鈴木 裕貴（6年） 努力賞 関川 翔真（5年）

※ 県大会は7月8日福島市（県営あづま総合体育館）で行われる予定です。

全国小学生陸上競技交流大会県南予選会（入賞者・県大会出場者）

男子	5年100m	第1位	山田桜太郎	男子	コンバインA	第3位	遠藤 斗環
	同	第11位	須藤 好誠	男子	コンバインB	第7位	角田 紬
	6年100m	第1位	相楽信太郎	女子	コンバインA	第9位	郷 結楠
	同	第3位	円谷 誠也	女子	コンバインB	第5位	矢内 優衣
	同	第6位	澤村 兼信	同		第12位	佐藤 希
	同	第6位	瀬谷 壽希	女子	800m	第5位	田子 苺幸
女子	5年100m	第3位	鈴木未来乃				
	6年100m	第6位	大竹ななみ				
	同	第13位	遠藤 結衣				

※ 8位までが入賞，13位以内が県大会出場

※ 県大会は7月2日に福島市（とうほうみんなのスタジアム）で行われます。



<陸上部入賞者>



<大会終了後全員>